

フィールドワーク意見まとめ ～道路・交通～

- 日時：令和2年12月6日（日）午後1時30分～4時30分
- 場所：太子堂小学校体育館 ■参加者：7名

問いかけ

あなたの家の周辺や太子堂五丁目・若林二丁目地区の道路が将来どうなっていると良いと思いますか？

①道路

考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代によって道路に求めるものが違うだろうから、そうした視点の違いを大事にすべきではないか。 ・ この地区は高低差があり坂道があるのが特徴だ。淡島通りからバックで入らないといけない。地区内の高低差を解決することはなかなか難しい。また、坂の上の地区の方が敷地の広い家が多いように感じる。太子堂五丁目は、坂の上は道が広めだが、下（南）に向かうほど道が狭くなっている。道路の作り方もまちの成り立ちから考えると良いのではないか。 ・ 将来的に高齢化が進んでいく中で、車の必要性は薄れていくのではないか。また、人も減っていく。道路の作り方も今まで通りではなく、将来を見据えた作り方を考えた方が良いのではないか。 ・ 生活する人が中心のまちなので、道路の狭さは生活する上で困っていない。生活する人が中心のまちである。 ・ 4mの道路幅員は広いと感じる。 ・ 道を広げるなどハード面の改善はなかなか難しいが、ソフト面でできることがあるのではないか。
通過交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通り抜けできる(4m?)道路ができたが、節度ある利用がされている。 ・ 不便でいい。むやみに道路を広げると車もスピードを上げやすくなるなどの問題も出てくる。 ・ この地区は通り抜けの場所ではない。不便でいい。 ・ 道路広げると車が来るから心配だ。通過交通。
骨格道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道が狭いのはスピードを出し過ぎなくて良いが、道に迷った車が侵入することは問題だ。
緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急車は遠回りしないと家の前まで来られないので心配だ。 ・ ソフト面改善策として、安全面や緊急時の対応ができるような手法を考えられると良い。
行き止まり道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米の視点から見ると、行き止まりが多いことは悪いことではない。むしろ豊かさの象徴だ。しかし、欧米とこの地区との違いは、スケールの小ささやコミュニティ希薄さにあると思う。こうした場合、防犯上も心配がある。
クランクの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ クランクが多すぎる。地区全体の大掛かりな改善は望まないが、クランクの改善は必要だ。車がすれ違いやすくなるようにすることは良いと思う。
電線類の地中化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電線の地中化を検討しても良いのではないか
見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しの悪さについても、道路を広げるだけでなく、隅切りをつくったり、塀の高さを下げたりするなど、ちょっとしたことで改善される。大掛かりにしなくても、こうした取組みを進めていくと良いのではないか。
敷地境界	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建て替わるとブロック塀がなくなる。 ・ ブロック塀のないまちもよい。 ・ ブロック塀を低くして視認性を向上させる。

子どもの遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭い道路は子どもの遊び場になっている。道路を整備すると遊べなくなってしまう。狭い事の良さも大事にしたい。
自転車マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 淡島通りに何故か自転車が駐輪されていて邪魔だ。 ・ バスの車庫周辺は違法駐輪が多い箇所がある。渋谷に行くのに便利なバス停なので、自転車で行くようだ。 ・ コロナ禍でデリバリーの自転車が增えた。 ・ ニーズがあるなら自転車駐輪場を作ってもよいのではないか。 ・ 世田谷通りは管理が厳しいが茶沢通りは管理が厳しくないのはなぜか。 ・ 自転車の駐輪が店の前と道路部分に多い。

②住環境

考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の建物にしか目がいかない。 ・ 地域の一員であるという意識の欠如。 ・ お互いに気持ちよくコミュニケーションをとれる関係性になれば。 ・ ちまちましているところが太子堂のよさ。
コミュニティの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行き止まりの先に住宅が密集しすぎたり、空地がないことも要因だ。行き止まりの先に住宅が密集していても、横のつながりがあまりないので、つながりができると良い。
私有地の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私有地から木がはみだしているところがある。
建替え支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太子堂五丁目の密集エリアには、財務省が持っている土地に家を建てている家もあると聞く。その場合、権利が複雑になり、建て替え時に問題が起きたりするようだ。
建物の共同化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2世帯住宅が増え、区画がどんどん細分化されてしまっていることも住宅が密集する要因だ。共同化などで何軒かまとめて建て替えをすれば、建て詰まりも抑えられるし、空地も確保できるし、未接道宅地の人も住み続けられるかもしれない。現実にはなかなか難しいかもしれないが、こういった取り組みを行政や誰かが音頭をとって実現できるとよい。

③防災

火事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太子堂は火事が相変わらず心配だ。
前面道路のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の敷地が狭いから道路境界線を1m下げるのは大変だ。
塀の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロック塀の安全確保が必要だ。 ・ 防災の視点に「へい」も必要だ。 ・ 万年塀の管理が法からもれている。 ・ 地域の一員として安全なまちづくりのための管理が必要だ。

④その他

街づくり活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住歴によってもまちへの愛着や関心度が異なり、できることも変わってくるはずだ。生活者それぞれの視点でできることを考えるべきだ。 ・ 新しい人が入ると地区への愛着がうすい人が増えていく。 ・ 地域への愛着がうすい人を巻き込む取り組みが必要。
検討方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期的・中期的・長期的の時間軸で分けて、改善策を検討するべきだ。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知らなかったことが多く、勉強になった。 ・ 整備されている例をみると良いなと感じる。 ・ 道路の種類など、決まりが複雑。

フィールドワーク意見まとめ ～防災～

- 日時：令和2年12月19日（土）午後1時30分～4時30分
- 場所：太子堂小学校体育館 ■参加者：7名

問いかけ1 ソフト的な防災対策

地域では町内会・自治会を中心に様々な防災活動が行われていますが、今日の情報提供やフィールドワークを経て、災害が起きた時に、あるいは日常時から、私たちができることや足りないなど感じたことはありますか。

共助ができる関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> 防災のために自助はできるが、近所の人に対して支援することは押しつけになる可能性があるのが難しい。助けやすくするためには人とのつながり作りが大事ではないか。避難訓練に誘うことも難しい。 今日のようなスタンドパイプ体験が共助のきっかけになるとよい。
高齢者のための支援	<ul style="list-style-type: none"> これから高齢化が進むにあたって地域の高齢者の方をどう支援していけばいいか、地域の人たちと話し合いたい。
事実を伝えて何が話せるか話し合う	<ul style="list-style-type: none"> 細かい建物データを出すのは良いが、それで問題のある人を責めるような形になるのは良くないだろう。データの出し方も注意が必要だ。ただデータを出すだけでなく、何が問題なのか、改善の必要性や方向性など、道筋を立てながら説明できる良いのではないかと。（道路が必要であれば段階を追って説明する等） 火災については自分が火元になるかもしれないという事実を伝える。
スタンドパイプの増設	<ul style="list-style-type: none"> 事実を伝えた上で、にスタンドパイプの購入や設置を進めるとよい。 消火栓とスタンドパイプの数を合わせて、セットであるといい。町会行事等で余った町会費があればそれでスタンドパイプを買ってはどうか。 防災については時間軸で考えるとよい。短期的にもできることがある。例えばスタンドパイプを増やしていくことも有効では。

問いかけ2 建物の外側の空間の使い方

避難することや消防活動ができる空間を確保するために、敷地内や道路を含めた建物の外側がどのようなになっているといいでしょうか。また、建て替わるときに、建物の外側の空間、垣さくや門などの工作物をどうしておくといいでしょうか。

延焼防止の方法	<ul style="list-style-type: none"> 建物の外側の空間、工作物については、敷地の状況にもよるが改善の余地はある。 延焼を食い止めるために、建物の外壁を後退させる方がよいと思う。 延焼を遅らせるために、道路や空間を広げられるなら広げる方がよい。 延焼を遅らせるために、敷地は広い方がよい。 延焼遅延のための空間を広げることは必要だと思うが、道路として広げるには敷地が狭い家も多く現実的ではない。建物の外壁を後退させる方が可能性がある。
危険な塀の改善	<ul style="list-style-type: none"> 塀についてはリスクがあることを所有者に伝えるとよい。 近くにひびの入っている石塀がある。今後ブロック塀を規制するルールができてても危ない塀がなくなるわけではない。危ない塀を見つけて改善できるルールができるとよい。 塀を改善するメリットを伝えて直してもらおうようにできるとよい。 傾いた塀を直すようお願いしたことがあるが、人の家のことをお願いするには勇気がいる。気になってもなかなか言えないことが多いので、区で対策をしてもらえるとうい。 塀については、専門家が見ないと本当に危ないのかわからない。専門家と協力して危ない塀を点検できるとういのではないかと。

問いかけ3 避難方法

行き止まり道路の二方向避難の確保のために、対策をとったほうが良いですか、それとも現状維持のままで良いですか？

改善	<ul style="list-style-type: none"> 最近では塀をつくらない家が多いが、昔から建っている家は隣地境界にある塀がそのままになっているので、何とかする方法があるとよい。 地区として改善しないとイケないが、個人から他の人の家については指摘しづらい。所有者に気づいてもらったら何か支援ができるのではないかと。 協定の事例のようにちょっとしたことでできることを伝えられるとうい。 他地区の事例をいくつか紹介して気になる家に話に行くとういのではないかと。 上馬の事例はよくわかった。二方向避難ができると安心する人も増えるのではないかと。こういった資料があると地域の人とも話しやすい。 二方向避難はよいが、必要な時に必要な人だけ通れる仕組みにできるとよいのではないかと。 行き止まり道路の二方向避難の確保のために、無理やり土地を買う必要はないと思う。強制的な改善ではなく、話し合いを重ねて徐々に改善していけるとよい。 土地買収などのハード面で解決するより、昔のご近所付き合いのようなコミュニケーションを取り、緊急時の通行ができるように合意形成を図るほうがよい。 昔は隣地境界に塀などなかった。いつの間にか作るようになってきた。塀がない時代を思い出して近隣の家と話し合いができるとよい。
----	--

その他の意見

街づくり活動	キーパーソンとして働きかけをする	<ul style="list-style-type: none"> 役所からのからのトップダウンでは、なかなか結果に結びつかないので、何気ない日頃からの身近なつながりづくりが大切だと思う。 町会の仕事で他の人が喜んでもらえること（＝住環境を良くすること）をやり始めたのがきっかけで、管理のプロになったら色々な人が相談してくれるようになり、人とのコミュニケーションが円滑になった。自分がキーパーソンになった時に、色々な人を結びつけることができ、横のつながりが生まれた。
	近所でコミュニケーションをとる	<ul style="list-style-type: none"> 今回のような場に地域の人に来てくれるとうい。地域の人とつながりを持てるきっかけが欲しい。 裏の家の方とコミュニケーションをとることが大切だ。自分の家も行き止まりの中にあるので、裏の家に住む方と話をすることから始めたいと思った。
	参加者を増やす	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が少ない。参加している私たちが声をかけて連れてくるなど、ここに来ない人にどう伝えていこうかが課題だ。 防災活動に参加しない人が多いが、声をかけて良いものか遠慮してしまい、どう声をかけたらいいのかわからず告知が難しい。防災活動もそうだが、このような地域のことを考える活動への参加が少ないと思う。もっとたくさんの人に興味を持ってもらう必要がある。町会活動も回覧板で案内するが役員しか参加せず、回覧板での告知も工夫が必要かもしれない。 学校などでも防災訓練をやっているのだから、その親世代（30～40代）も参加してもらいたい。また、子どもが巣立った50代も参加してほしい。
その他	事実を伝えて何が話せるか話し合う	<ul style="list-style-type: none"> 前半の情報提供で示されたデータ等（建物構造や年数）を事実として、もっと地域の人に伝えたい。掲示板などに貼るといいかもしれない。それをもとに何が話せるかと話し合うと理解してもらいやすいのではないかと。 細かい建物の現況のデータを出だして、自分の敷地や建物、その周辺が問題だと気付いてもらえるとうい。
		<ul style="list-style-type: none"> 気になる場所マップを作ってはどうか。それを作るときに専門家を入れて点検できるとよい。どのように作り変えると有効なのかは専門家でないとわからない部分も多く、それがわかれば住民からも理解を得やすい。 地域にたくさんある空き家を壊して防災用に広場や公園にできるとよい。